

KENKO

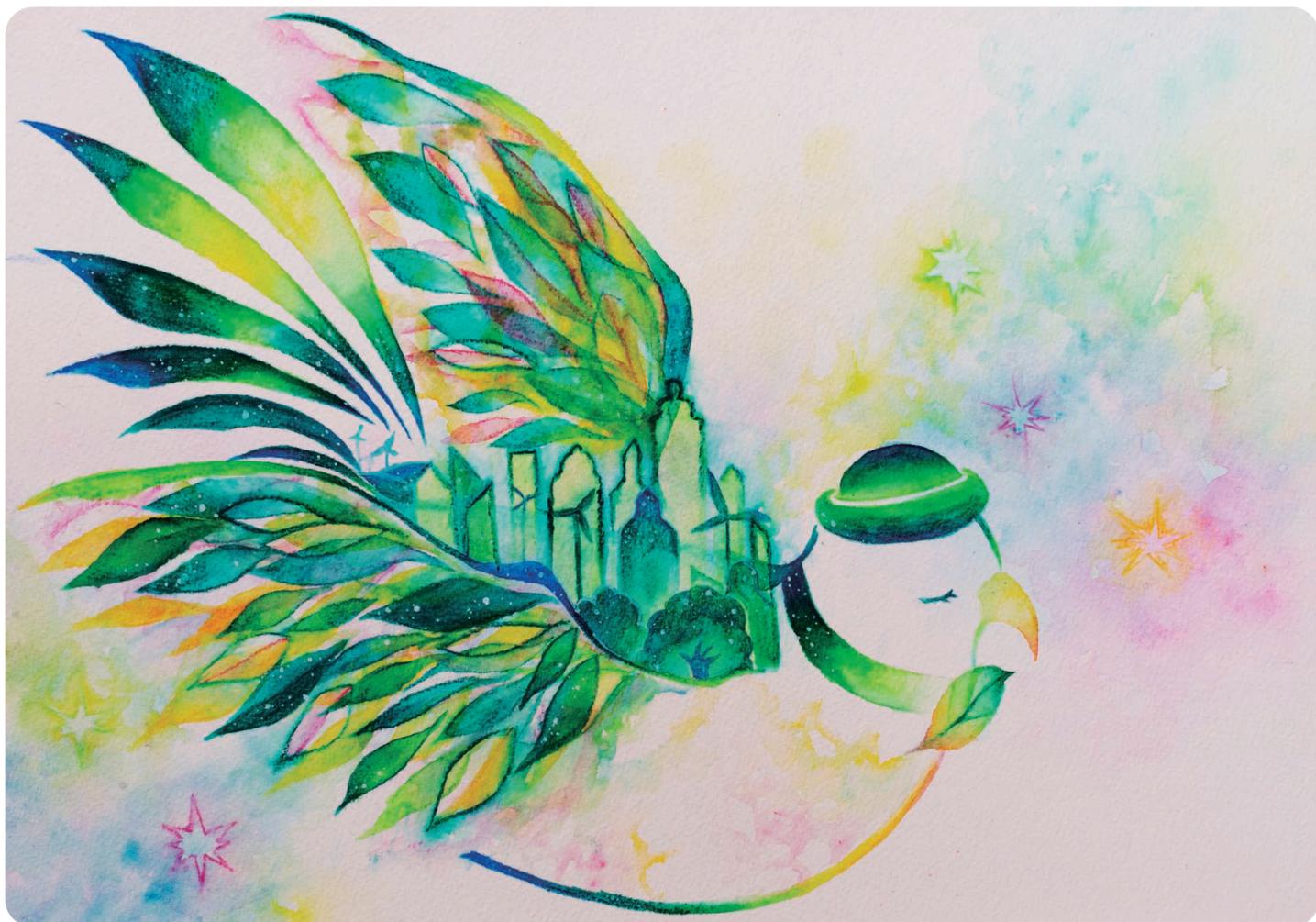
vol.23

ケンコーレポート

第66期第2四半期

2022年4月1日～2022年9月30日

REPORT



 Paralym Art®

作品名「地球船みらい号」
miho氏/作

ケンコーマヨネーズはパラリンアートを応援しています

パラリンアートとは
障がい者アーティストの経済的な自立を目的とし、
彼らのビジネス支援を行う活動です。



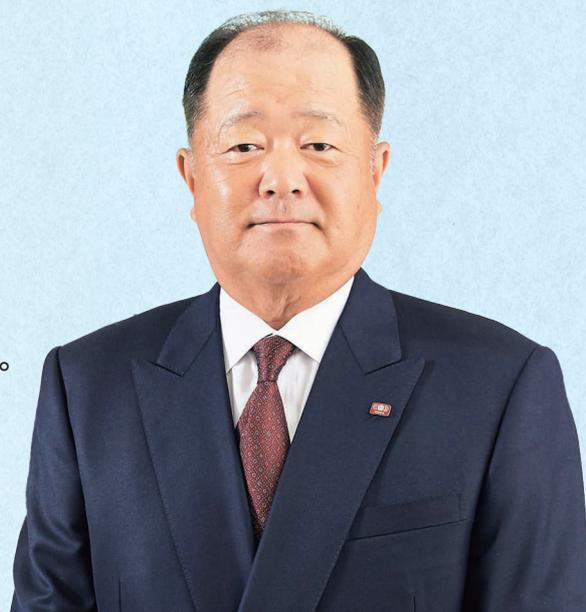
KENKO
ケンコーマヨネーズ株式会社

トップインタビュー

今の難局をチャンスに変え 丁寧に、着実に事業活動を 展開してまいります。

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
不安も多く、予測が難しい環境ですが、
現在の取り組みがより良い未来に繋がると信じ、
着実に前進してまいります。

代表取締役社長 炭井孝志



• 上期の業績について

2022年度上期は、飲食店などで休業や営業時間短縮等の行動制限措置が解除されたことやウィズコロナへの経済の転換もあり、外食や旅行などのサービス消費に回復傾向が見られました。売上高の回復が見られた外食分野やファストフード向け分野を中心に売上拡大を進めた結果、前年同第2四半期比で増収となりました。一方、円安の進行などによる原材料価格やエネルギーコストの上昇はさらに進んでいます。また、外食需要の回復に伴い、中食向けの需要は落ち着いてきました。商品の価格改定や生産数量増加に伴う工場の稼働率向上、経費削減等の収益改善を進めましたが、前年同第2四半期比で連結営業利益及び連結経常利益は減益となりました。

今後も、極めて難しい事業環境は継続すると予測され、当社としても厳しい状況ではありますが、2年目を迎えた『KENKO Transformation Plan』の4つのテーマ及びサステナビリティ方針を軸に着実に歩みを進め、明るい未来に向かって邁進してまいります。

• 上期の取り組みについて

当社はこれまで業務用食品メーカーとして商品づくりを行ってまいりましたが、2022年度上期は業務用のお客様に限らず、一般消費者の皆様にも届く形で、当社商品をご紹介していただく機会を増やしてまいりました。『ガーリックバターソース』は、TVやYouTubeなどでご紹介いただいた他、Amazon「たれ・ソース」カテゴリーベストセラー1位を記録（11月14日時点）、11月4日に発表された日経TRENDY 12月号「2022年ヒット商品ベスト30」では、メーカー別ヒット総覧に掲載されました。当社ECサイトでの売り上げも好調で、当社を代表する商品に成長していることを実感しております。また、新たな商材、商品ブランドへも挑戦しています。当社初のパスタソースブランド『野菜とおいしいパスタソース』や、まるで外食のような特別感を気軽に味わえる缶詰『CANDISH®』を6月に発売しました。また、9月には新シリーズとして、低オイルながら満足感のある濃い味わいに、機能性を付与したドレッシング スマイルテーブル®『fullness®』を発売し、様々な視点からの商品を開発しました。

3か年計画の折り返しを迎えた中期経営計画『KENKO Transformation Plan』の各テーマでは、このように成果が表れてきています。今後も、業務用食品メーカーとして培ってきた技術力、商品力を活かし、より良い未来へ貢献してまいります。

● 価格改定と中期経営計画について

当社では、2021年7月にマヨネーズ類の価格改定を実施して以降、ドレッシング類、ソース類、タマゴ加工品、ロングライフサラダ類、和惣菜など、2022年10月までに当社で取り扱う大半の商品において価格改定実施のご案内をさせていただきました。価格改定発表後も、食用油を含む原材料・資材価格、物流費及びエネルギーコストなどの上昇が続いております。直近の事業環境は、過去に類を見ない状況であり、食品業界はもちろんのこと、多くの業界が大きな影響を受けています。当社におきましては、これまで生産効率向上等のコスト削減に取り組み、品質と販売価格の維持に努めてまいりましたが、その影響を企業努力のみでは吸収することが難しい状況です。お客様には価格改定のお願いをさせていただくとともに、当社の強みでもあるメニュー提案力をいかしたご提案をさせていただき、できる限りお客様のお役に立てるよう、丁寧に対応させていただいております。

かつての日本は「良いものをできるだけ安く」という考えが強くありましたが、最近はその考え方にも変化があり、発展途上国と適正な価格で取引を行っていることを示す「フェアトレード」の商品が増えたり、価格だけにとらわれず自分にとって価値のあるものを求めるという考え方も広く浸透してきています。当社としましても、価格だけにとらわれず、機能性やブランド育成など、様々な切り口からより価値ある商品・サービスの提供を通じて、ステークホルダーの皆様の幸せに繋がる事業活動を展開していきたいと考えています。

その具体的な方法が、現在2年目となる中期経営計画『KENKO Transformation Plan』で掲げるテーマを着実に遂行していくことだと考えています。『KENKO Transformation Plan』では、企業理念と前中期経営計画のCSV経営「共通価値の創造」の考え方を継続し、「B to B to C」「イノベーション」「構造改革」「グローバル」の4つのテーマとサステナビリティ方針を軸に取り組みを進めています。この厳しい状況もある意味ではチャンスととらえ、新しい視点を持ってチャレンジしてまいります。

また、今回の第2四半期の決算発表とともに、2023年3月期の業績予想も発表させていただきました。これは第2四半期累計期間の業績が確定したことや、現時点で入手している将来予測情報等を踏まえて算出しています。今後も事業環境やお客様のニーズを敏感に察知しながら、事業を展開してまいります。

● 株主の皆様へメッセージ

株主の皆様の生活におきましても、世界情勢の変化、円安や物価上昇等が、大きな影響を及ぼしていることと思います。当社におきましても厳しい状況ではありますが、ただ悲観的にとらえるのではなく、着実に前進することが大切だと考えております。10月には3年ぶりにケンコーマヨネーズグループ総合フェアを開催できました。私自身も当社商品・メニューを実際に見て、食べていただく場をつくることができ、貴重な機会となりました。常に変化する世の中を適切にとらえ、先を見据えたご提案を継続していくことが、業務用食品メーカーである当社の役割だと思っております。今後も、食を通じて世の中に貢献していくため、日々邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

特集

ケンコーマヨネーズグループの サステナビリティ

ケンコーマヨネーズグループは、「食を通じて世の中に貢献する。」「心身(こころ・からだ・いのち)と環境」という企業理念のもと、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

環境

地球にやさしい企業へ



社会

ステークホルダーの
幸せづくり



健康

健やかな暮らしのために



環境

廃棄物のゼロエミッションへの取り組み

循環型社会の構築に向けて、「リデュース、リユース、リサイクル」の3R活動を実施しています。

2006年度から自社工場にて実施しており、**2008年度より継続してゼロエミッションを達成**しています。また、2015年度からはグループ全体でも取り組みをはじめ、**2020年度よりグループ全工場にてゼロエミッションを達成し継続**しています。



アップサイクル*

野菜を丸ごと活用する商品や、製造時に発生する原材料を無駄にしない商品を開発しています。

* アップサイクルとは、従来であれば破棄していたものや、製造過程で出る端材、不ぞろいや規格外品などに、新たな価値を見だし、付加価値をつけて生まれ変わらせることです。

セロリの葉



セロリとシラスの香味サラダ
(製造：株式会社関西ダイエツクック)

出汁がらの活用



出汁がら使用の和風明太子スパゲティ
(製造：株式会社関東ダイエツクック)

規格外の煮卵



煮卵をつぶして作った玉子ポテトサラダ
(製造：株式会社九州ダイエツクック)

ホタテ貝ひも



ホタテ貝ひものガリバタ醤油
(製造：株式会社鮮冷)

当社と、株式会社鮮冷、コンサルティング業務を担うくりや株式会社は、2022年3月に地方創生に向けた活動を協働していくことに合意し、地域密着型の取り組みを実施しています。本商品もその取り組みの一環です。

環境に配慮した包材対応(資材、CO₂の削減)

●包材の薄肉化

品質を担保しながら従来使用していた包材から約12%厚みを削減。これによりプラスチック使用量を約3.5t/年*削減見込みです。

* 対象包材切替時の理論値



●バイオマスインキの活用

(※ 原料の一部に植物由来の資源を)
使用して製造したインキ

2022年9月中旬より「ケンコーマヨネーズ レストランの味」にて切り替えを開始しています。



●個装箱の見直し

希望するお客様から順次、個装箱の廃止を推進しています。

現在の対象商品

ケンコーマヨネーズAR、
ケンコーランチマヨネーズ、
具材たっぷりタルタルソース

削減見込量 (3品計/年)

資材 約13t*¹、CO₂ 約8t*²

*1 資材削減量は、
当社月間生産量の平均に基づいて算出
*2 CO₂削減量は、資材メーカーによる理論値



ワークライフバランスの向上

当社は次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づき、ワークライフバランスの推進を含め、従業員が活躍できる環境づくりに継続して取り組んでいます。

女性の平均勤続年数を10年以上にする

2021年3月時点では、女性の平均勤続年数が8年となっていますが、2026年までに10年にすることを目指します。

従業員が長く活躍するために自身のキャリアイメージを描ける環境、支援体制を整える

仕事と子育てを両立し、男女とも長く勤務いただけるよう、キャリア研修の実施や希望者へは先輩従業員との交流機会の提供などを通じ、子育てを経験しながら働き続けられるよう支援を行っています。

サラダサイエンス(ケンコーマヨネーズ)寄附講座

2013年10月より、教育・研究支援活動の一環として、国立大学法人 東京海洋大学に寄附講座を開設しています。古くから冷蔵技術を不可欠としてきた水産業界での研究・技術は、今後のサラダ分野の発展に貢献すると考えています。

▶2022年6月に実施したサラダサイエンス寄附講座のインタビュー記事はこちら

www.kenkomayo.co.jp/company/effort/effort2/ss_conversation



社内研修の充実

当社では、階層別やスキルアップを目的とした様々な社内研修を定期的に行っています。また、社員が講師となる社内講師の育成を通じて継続的な人的資本の強化にも努めています。



研修内容例

新入社員研修、フォローアップ研修、階層別研修(管理・監督者スキル研修、コンプライアンス研修など)、公募型研修(語学等各種スキルアップ研修、選抜型研修(キャリア研修等))

健康

付加価値商品の開発

●食べやすさへの付加価値

加工適性・機能性・低カロリー

新シリーズ スマイルテーブル®では、「楽しく笑顔あふれる食卓に、美味しいサラダ料理を」をテーマにしています。その第1弾『fullness®』は、焼成耐性及び電子レンジ加熱可能等の充実した機能性に、低オイルながら満足感のある濃いめの味わいが特長のサラダクリーミードレッシングです。

スマイルテーブル®
『fullness®』
(2022年9月発売)



●お手軽に高級感をプラス

「薫るトリュフ」シリーズ

高級食材として知られるトリュフを使用しており、トリュフの芳醇な香りを楽しんでいただけます。いつものメニューにお手軽に高級感をプラスします。



第1弾
薫るトリュフのマヨソース

第2弾
ノンオイル
薫るトリュフ
~コク旨しよゆ仕立て~
(2022年7月発売)

食に関する教育活動

●工場見学動画のご紹介

企業サイト上にて、工場見学動画を公開しています。動画とあわせて、より理解を深めていただくための「学習シート」もダウンロード可能。学校の授業、課外学習、家庭学習等でお使いいただけます。



動画で学ぼう!
工場見学

www.kenkomayo.co.jp/aboutfood/factory_movie



●食育への取り組み

「食の大切さと楽しさ」を子どもたちに伝えることや、地域の皆様との交流を大切に考え、食育活動を実施しています。



手作りマヨネーズ体験 (2019年)



食育動画の公開

ケンコーマヨネーズ
公式チャンネル

www.youtube.com/channel/UC9tly13si8QOG6mrxRElQcQ



KENKO

NOW

ロングライフサラダ『ファッションデリカフーズ®』 発売開始から45周年

2020年の新型コロナウイルス感染症拡大以降、食品業界では消費者や飲食店のニーズに大きな変化がありました。その変化の中でも活躍したのが、サラダ本来の味を損なわずに冷蔵未開封で長期保存できる「ロングライフサラダ」です。ポテト、パスタ、タマゴ、ツナ、ごぼう、豆、パンプキン、大豆ミート等、現在は111種類。時代に合わせて小容量化のラインナップ強化や品質を担保しながら包材を薄くすることによるプラスチック量の削減、素材にこだわった商品作りなど45周年を迎えた現在も進化し続けています。

ファッションデリカフーズ®の特集ページ
www.kenkomayo.com/pro/pages/feature1_fdf.aspx



Salad Cafe 京王百貨店新宿店 2022年11月22日オープン



サラダカフェは、世界有数の巨大ターミナル「新宿駅」にある京王百貨店新宿店に新店舗をオープンしました。量り売りサラダ、お弁当、サンドイッチやオードブルを取り揃えています。日々新宿駅を利用される方、野菜を生活に手軽に取り入れたいお客様に向けて、時間をかけずにメインから副菜までを一度に購入できる“ワンストップショッピング”を実現する店舗です。お近くにお越しの際には、ぜひご利用ください！

サラダカフェのロゴを新しくしました

サラダカフェがケンコーマヨネーズグループの一員であることをよりわかりやすく表現。お客様の認知拡大に繋げるとともに、さらに連携を強化し事業を展開してまいります。





『のせるだけ』シリーズが 2022年「第52回食品産業技術功労賞(商品・技術部門)」受賞

「のせるだけ」シリーズが、株式会社食品産業新聞社主催の「第52回食品産業技術功労賞(商品・技術部門)」を受賞しました。このたび受賞した“商品・技術部門”は、優れた国産技術により、食生活の向上、食品産業の発展に貢献した商品の開発、技術の開発を行った企業、または個人、団体を選定対象としています。

本商品は、1袋160gと使い切りやすい小容量タイプの商品です。調味料やスパイスにこだわった本格的な味わいに加え、コロナ禍で増えたご自宅での調理やテイクアウトにおいて、簡便性や衛生面などでニーズの高まる使い切りに対応していることや、SDGsの観点から関心の高まっている食品ロス削減にも貢献することが評価され、今回の受賞に至りました。

今後も、市場のニーズに応え、食品産業を発展させる商品作りに努めてまいります。

『のせるだけ』シリーズの特集ページはこちら

www.kenkomayo.com/pro/pages/feature1_noserudake.aspx



株式会社関東ダイエットクック 惣菜盛り付けロボット実証実験開始予定

株式会社関東ダイエットクックは、一般社団法人日本惣菜協会のパートナー企業として、惣菜盛り付けロボットを導入する実証実験を行います。惣菜製造において最も人手がかかり高度な工程である惣菜盛り付け作業にロボットを導入することで、製造現場の合理化を図り、惣菜業界の抱える課題解決を目指します。

当社グループでは、今後の豊かな食生活を支える活動に積極的に参画してまいります。

本取り組みは、業界の人手不足解消を目的としてAI・ロボット化を推進している日本惣菜協会が、今年度の経済産業省の事業である「革新的ロボット研究開発等基盤構築事業」及び、農林水産省の事業である「農林水産物・食品輸出促進緊急対策事業のうちスマート食品産業実証事業」のモデル実証事業に採択されたことを受けたことによるものです。



当社初の統合報告書を制作

当社初の統合報告書を制作し、11月よりWEBにて公開しています。統合報告書では、当社グループのあゆみ、経営戦略、サステナビリティの取り組みや社長と社外取締役の対談、財務・非財務情報などを詳しく掲載。各部署で活躍する社員の言葉などもあり、より深く当社のことを理解いただける内容となっております。ぜひご覧ください。

統合報告書はこちら
www.kenkomayo.co.jp/ir/irshiryu/integratedreport



新商品のご案内

新商品のご案内 2022年秋冬向け 業務用新商品13品発売

食市場や環境意識の変化に対応し、社会の抱える課題を解決しながら価値あるメニューづくりに役立つ商品を開発しました。使い勝手が良く食品ロスの削減にも繋がる小容量の商品、人気の和惣菜シリーズ、食感を工夫し幅広い年齢層に喜んでいただける商品などを発売。『ノンオイル薫るトリュフ ～コク旨しょうゆ仕立て～』は、2020年7月に発売し好評いただいている『薫るトリュフのマヨソース』に続く、『薫るトリュフ』シリーズの第2弾。『和彩万菜』シリーズには『いかとじゃがいものうま煮』『大根のかに餡かけ』が加わり、現在21種類となりました。今後も、皆様にお役立ていただける商品作りに努めてまいります。

ケンコーマヨネーズ商品サイト
www.kenkomayo.com/



ケンコーマヨネーズグループ総合フェア2022 実施のご報告

10月13日・14日に、3年ぶりとなるケンコーマヨネーズグループ総合フェアを開催いたしました。今年のテーマは「ひらくあした つなぐみらい」。

今まで思いもなかったリスクが顕在化し食を取り巻く環境が目まぐるしいスピードで変化する中、「食を通じて世の中に貢献する。」「心身（こころ・からだ・いのち）と環境」という企業理念のもと、持続可能な社会の実現を目指し、グループ総合フェアの開催を通じて、**より良い未来へとつなぐ**ことを表現いたしました。



今年のフェアは、新型コロナウイルス感染症対策として、ご来場者様の人数や試食数、ご説明人数等様々な制限をしながらの開催となりましたが、多くの方にご来場いただきました。ご好評のお声を多数いただいたフェアとなりました。

(新型コロナウイルス感染症対策として、大阪会場の開催は中止となりました。)

ご来場者様アンケート

Q 展示会にご来場いただき、当社の商品・メニュー・情報を通じて、より良い未来へとつながると感じましたか？



株主様見学会のご報告

当社企業サイトにて募集しました「株主様見学会」を開催しました。当社社員から当社概要と商品紹介をさせていただいた後、フェア会場にて商品・メニューをご試食いただきました。

多くの株主様の印象に残ったのは、「背徳」メニュー！「背徳」というと後ろめたいようなイメージを持たれる言葉ですが、当社では、楽しく美味しい最上級のポジティブワードとしてとらえています。

今後も、世の中のニーズに合わせ、広い視野での商品提案、メニュー提案を行ってまいります。ご来場いただきました株主様、ご応募いただきました株主様、誠にありがとうございました。



背徳

ボリューム、濃厚、にんにく、ハイカロリーなメニューで、楽しくストレス発散！

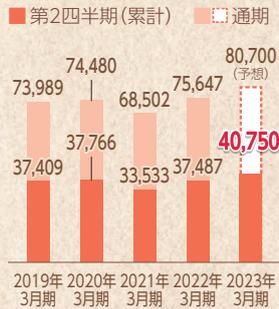


卵に沈む！濃厚ダブルチーズのカルボナーララーメン

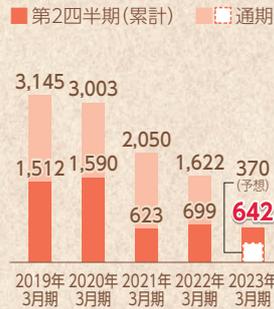


● 連結財務ハイライト (単位:百万円)

売上高



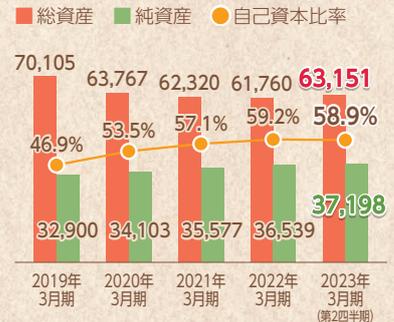
経常利益



親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益

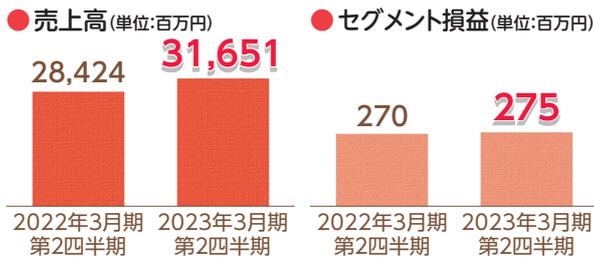


総資産・純資産／自己資本比率

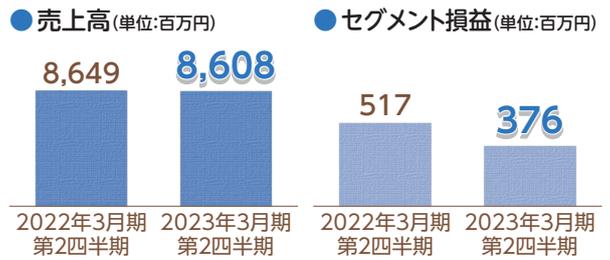


セグメント別営業概況 (連結)

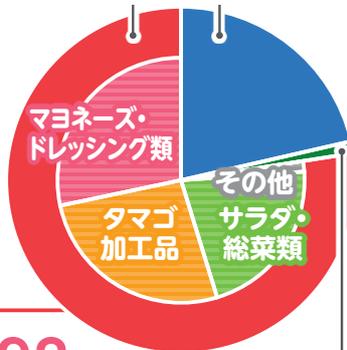
調味料・加工食品事業 77.7%



総菜関連事業等 21.1%



2023年3月期 第2四半期 売上高構成比



主な事業内容

マヨネーズ・ドレッシング類、
タマゴ加工品 (厚焼き卵、錦糸卵、
タマゴサラダ等)、
サラダ・総菜類 (ポテト/ごぼう/ツナ等
を使用したロングライフサラダ等)の製造・販売

主な事業内容

●国内の連結子会社が行う事業
フレッシュ総菜(日配サラダ・和惣菜)の
製造及び量販店等への販売
●ケンコーマヨネーズからの調理加工食品
及びタマゴ加工品の生産受託事業

マヨネーズ・ドレッシング類 売上高 11,598百万円

ポイント》●ミドルサイズ商品やテイクアウト需要への対応に
加え、加工適性と機能性を付与した新商品を発売
●マヨネーズ類の価格改定効果等

タマゴ加工品 売上高 10,767百万円

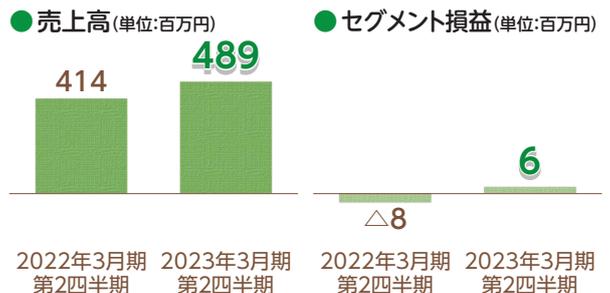
ポイント》●大手製パンメーカーやコンビニエンスストア向け
のタマゴサラダの増加、厚焼き卵が外食チェーン
やコンビニエンスストアで採用され増加

サラダ・総菜類 売上高 8,699百万円

ポイント》●主力商品の1kg形態のポテトサラダの売上高の
回復や、「和彩万菜。」シリーズが堅調に推移

その他 売上高 586百万円

その他 1.2%



主な事業内容

ショップ事業 (Salad Cafe) 及び海外事業※
※ 海外事業は持分法適用会社のため売上高には含まれません。

会社概要 (2022年3月31日現在)

会社名 ケンコーマヨネーズ株式会社
KENKO Mayonnaise Co., Ltd.
設立年月 1958(昭和33)年3月
本店所在地 兵庫県神戸市灘区都通3丁目3番16号
(東京本社)東京都杉並区高井戸東3丁目8番13号
資本金 54億2,403万円
従業員数 3,192名(連結)
証券コード 2915(東京証券取引所市場第一部、
2022年4月4日よりプライム市場へ移行)
ホームページ www.kenkomayo.co.jp

株式の状況 (2022年9月30日現在)

発行可能株式総数 33,500,000株
発行済株式総数 16,476,000株(自己株式 200,578株を含む)
株主数 11,173名

大株主	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社ティーアンドエー	1,457	8.96
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,304	8.02
第一生命保険株式会社	757	4.65
鈴与コンストラクションホールディングス株式会社	623	3.83
日本生命保険相互会社	577	3.55
株式会社三井住友銀行	559	3.44
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE THE HIGHCLERE INTERNATIONAL INVESTORS SMALLER COMPANIES FUND	555	3.41
キッコーマン株式会社	491	3.02
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	484	2.98
一般財団法人旗影会	450	2.76

※持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しています。

役員一覧 (2022年10月31日現在)

代表取締役社長 炭井 孝志 社外取締役 櫻本 和美
取締役 副社長 寺島 洋一 社外取締役 今城 健晴
取締役 川上 学 社外取締役 三田 智子
取締役 塩谷 正樹 常勤監査役 渡辺 亮彦
取締役 島本 国一 社外監査役 神田 憲樹
取締役 立花 健二 社外監査役 田島 正人

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
株主確定基準日 定時株主総会 3月31日
期末剰余金配当 3月31日
中間配当 9月30日
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内1丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
(電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)

● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



ケンコーマヨネーズ ECサイト

商品登録数400種類以上!料理のプロから一般のお客様まで、幅広い方にご利用いただいています。通販限定のお得なセットや、商品活用法、コラムやトレンドなど、日常にお役立ていただける情報も盛りだくさんです!

www.kenkomayo.com/



新規会員登録キャンペーン

新規会員登録された方全員に、すべての商品に使える500円クーポンをプレゼント!

(商品金額合計3,000円以上のご注文でお使いいただけます。)

ご登録はこちらから
www.kenkomayo.com/pro/pg/1entry/?top_pclft



SNS情報



Twitter
twitter.com/
kenko_mayo

すぐに活用できる商品情報や
気になるレシピも随時配信中!



Instagram
www.instagram.com/
kenko_mayo/

商品を活用した社員オススメレシピなど
ご家庭で簡単に作れるメニューを
多数ご紹介!



LINE公式アカウント 2022年4月開設!
page.line.me/846fmpyt?openQrModal=true

お友だち登録で初回登録特典のクーポンをプレゼント!



Twitter
twitter.com/
Salad_Cafe_plus



Instagram
www.instagram.com/
salad.cafe_official/



ケンコーマヨネーズ株式会社

〒168-0072 東京都杉並区高井戸東3丁目8番13号

電話/03・5941・7682 (経営企画本部 広報部 広報・IR課)

FAX/03・3247・8818